フジタガンカニュース

Vol.176 2025.5.19

目が乾いたらドライアイなの？⑯

さて…前回号の最後で説明していた「引用文のドライアイ治療の説明に対して欠けている要素」についての説明の続きなのですが。前回号をお読みで無い方はまずそっちに目を通して頂いた上で…第2が消炎治療、すなわちステロイド点眼の使用です。一つは乾性炎症の消炎、消炎は疼痛軽減（ゴロゴロ感の緩和）にもつながります。一般の眼科医は「乾いているだけなのに消炎は不要では？」みたいな感覚の方が多い様で…他にも「ドライアイの疼痛は角膜障害（＝黒目の傷）なんだから消炎は関係ないでしょう？」みたいな論理の眼科医も多い印象です。角膜の障害（＝黒目の傷）は原因によって治療法が異なりまして…ヒアレインやジクアスがその治療法な訳ではなくて…病態によってはステロイド系の薬剤が角膜障害の治療になる…というアイデアがない眼科医はとても多いと…個人的には思っています。またドライアイは涙の分泌線である涙腺への自己免疫疾患という側面も疑われており、この涙腺へのダメージを軽減する為にはステロイド系の薬剤や免疫抑制剤の点眼を使用する事が良いとされています。意外というか…ほとんどの眼科ドクターが使わないのですが…ドライアイの専門家が重症型のドライアイを治療する場合にステロイド点眼は『必須』だと思います。但しステロド点眼は副作用への注意が必須です、定期通院をしながらの使用が原則、「つけっ放しで平気という事は無いんだ！」という事は強調したい所ですね。フジタガンカニュースのバックナンバーvol.23-25では「ステロイド点眼」についての詳しい解説をしています。良かったら参考にして下さい。@@@